

イベント予告 薩摩偉人維新伝心隊による「維新演劇シアター」

史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る「維新演劇シアター」。

この冬は薩摩の偉人たちを陰で支えたその人望に現代ファンも多い「小松帯刀」さんの物語をお送りします！是非ご覧ください！



上演スケジュール

会場 維新ふるさと館 地階「維新体感ホール」

〈日 程〉2024年1月1日(月・祝)
〈上演時間〉12:30～13:00(30分間)
〈観 覧 料〉無料(入館料のみ)

会場 維新ふるさと館横 武家屋敷(二ツ家)

〈日 程〉2024年1月28日(日)
〈上演時間〉12:30～13:00(30分間)
〈観 覧 料〉無料

—— 臨時休館のお知らせ ——

令和6年1月10日(水)～2月9日(金) (予定)

※工事の都合により休館期間が変わることがあります。

館内工事に伴い、左記の期間が休館となります。なお、休館中もご予約などのお問い合わせは通常通り承ります。詳しくはホームページをご覧ください。



イベント予告 こままわし・おりがみあそび体験会を開催します！

「こままわしあそび体験会」と「おりがみあそび体験会」を下記の日程で13時から16時まで開催いたします。

季節感や鹿児島の文化・自然・風習等、こままわしやおりがみを通して楽しんでいただきたいと思います。皆様の参加をお待ちしております。



開催スケジュール

2024年1月6日(土)「こままわし体験会」
維新ふるさと館1階 ゆくさ おさいじやした通り特設コーナー

2024年2月24日(土)「おりがみあそび体験会(桜島)」
維新ふるさと館1階 あそんでみやんせコーナー

温故地新

ふる 故きを たず ね、地元を新たに。

■歴史講座③

「島津中興の祖・島津忠良」を開催しました

11月24日(金)・25日(土)・12月1日(金)・2日(土)の4日間(全7回)、「島津中興の祖・島津忠良」と題して、佐々木副館長兼歴史解説員による歴史講座を開催しました。

147名の方々に聴講いただき、大変好評を得ることが出来ました。受講者からは、「島津忠良(日新公)やいろは歌の事は知っていたが、忠良公の生涯やいろは歌の意味は知らなかったので深く学ぶことが出来、とても良かった。地元の歴史に更に興味が湧きました。現地(加世田)を訪問したくなりました」といった感想も寄せられました。

今後も歴史講座を



きっかけに是非、維新ふるさと館にお越しください。

■「薩摩の武家屋敷群『麓』を歩く」史跡めぐりバスツアーを開催しました！

27名の参加者の皆さんと佐々木副館長兼歴史解説員と一緒に志布志麓を散策しました。

志布志城(本丸)登口跡から切り通しを実際に登り、城を守る工夫を知り、自然の岩盤を利用した武家門など自然を活かした武家屋敷群を散策し、武士の暮らしを垣間見ることができました。



維新

明治維新を分かりやすく、楽しく

2024 WINTER

維新ふるさと館情報紙/No.47

日本にキリスト教を伝えた宣教師「フランシスコ・ザビエル」

(鹿児島市祇園之洲町／祇園之洲公園)



祇園之洲公園に、ザビエルの銅像と陶板レリーフからなる「ザビエル上陸記念碑」があります。銅像は吉野剛制作、レリーフの原画・監修はベルギー人ルイ・フランセンです。

フランシスコ・ザビエルは、1506年、スペインバスク地方にあったナバラ王国の宰相を務めた貴族の三男としてザビエル城で生まれました。パリ大学在学中に出会ったイグナチオ・デ・ロヨラに感化を受け、修道者として東方布教に自身を捧げることを決意したザビエルは、ロヨラら同志7人でイエズス会を創設しました。

1547年、インド方面での布教中、ザビエルはマレー半島のマラッカでヤジロウに出会います。ヤジロウは薩摩出身の日本人で、罪を犯したため国外に逃れてきていました。ポルトガル語を話し、知識欲旺盛なヤジロウから日本に興味をもったザビエルは、2人のイエズス会員らとともに、ヤジロウを案内に日本での布教のために鹿児島へ向かいました。

1549年8月に鹿児島に到着したザビエルは、島津15代当主貴久に謁見し、布教の許可を得ます。インドな

どでの布教では、文字が読めない人々が相手でしたが、驚いたことに鹿児島の大部分の人々は読み書きができるではないですか。ザビエルは、他の国以上に詳しくキリスト教を伝えるために、ローマ字の説教本を作り、人々に語りかけ、キリスト教の教理をわかりやすく説明した要約などを日本語に翻訳し、使用しました。さらに、「神」を「大日」と説明したため、仏教の僧侶たちも、最初は仏教の宗派の一つと捉え歓迎しましたが、仏教とは違うことに気づき、布教活動を妨げました。

1550年8月、ザビエルは鹿児島を去り、平戸、山口、大分などで布教を行いましたが、訪日以来イエズス会との連絡が途絶えていることから、1551年いったんインドに帰ることにします。その後、日本への布教のために中国布教を目指しますが、実現できないまま中国の上川島で病死しました。

ヤジロウの影響から最初の布教地を鹿児島と定め、日本にキリスト教を伝えたザビエル。上陸した場所は、記念碑が立つ位置から400mほど稲荷川を遡った国道10号と日豊本線の間の辺り(戸柱港跡)になります。

(文・佐々木幸男 維新ふるさと館 副館長兼歴史解説員)

「島津家ゆかりの三社参り」

新年あけましておめでとうございます。維新ふるさと館は、2024年4月29日で30周年を迎えます！今後も鹿児島県の歴史観光施設として、郷土の歴史を「楽しく、分かりやすく」紹介してまいります。

今回は島津家が元旦に巡拝されたといわれている三社、一之宮神社、鹿児島神社（二之宮）、川上天満宮（三之宮）取材してきました。



いち の みや じん じゃ
一之宮神社
鹿児島市郡元2-4-27

天智天皇の一之宮姫宮が指宿市の枚聞神社（薩摩一之宮）の御分霊を祀ったのがはじまりとされている鹿児島市最古の神社といわれています。電車通りから住宅街に入り鳥居がみえてきます。

「歴史を辿れば、海が近く、弥生時代の住居跡もみつがっている。この場所は古くから人々の生活の中心だった。年越し、お正月には多くの参拝客が家族連れなどでこられるが、コロナで参拝客の分散はあったものの参拝客数は毎年変わらない。昔から気持ちを入れ替えて新しい年の自分や家族の健康や幸せを願う場所として大切に守られてきたということが感じられる。」宮司の坂上さんがお話ししてくださいました。



か ご しま じん じゃ に の みや
鹿児島神社 二之宮
鹿児島市草牟田2-58-3

二之宮と呼ばれる鹿児島神社は鹿児島一円の地主神と伝えられ、また海の神様であると言われています。鹿児島神社では藩政時代から田の神舞、宮毘舞、鬼神舞、剣舞、薙刀舞の五つの神楽舞が奉仕されています。

昔、「ひ」は朝がきて夜暗くなる、「つき」は月の満ち欠けで、「とし」は米、田植えをして稲穂が実ること、時、季節の流れを感じることができたのです、と宮司の山下さん。ちょうど伺った時、人々の生活に深く関わってきたそのお米を、境内の中で育てる場所が作られているところでした。交通量の多い道路から少し入った場所にある鹿児島神社ではゆっくり時間がながれているように感じます。鹿児島神社の小さな水田がみられるのが楽しみです。



かわ かみ てん まん ぐう さんの みや
川上天満宮 三之宮
鹿児島市川上町834

三之宮と呼ばれる川上天満宮は学問の神様をお祀りするお社として合格祈願に参られる方も多い川上天満宮。数年前までは吹きさらしの状態だったという本殿を修復、境内の整備など地域の方と一緒に保全されている神社代表総代の徳満文夫さんにお話を伺いました。

軍馬を育て、城下の生活水を得る川の上流でもある鹿児島北部の吉野台地は島津を支える重要な地でもありました。地域の平安と五穀豊穰、無病息災を祈願するため創建された島津家ゆかりの神社のひとつ、地域の皆さんの協力により参拝者も増えて今は本殿の建て替えを目指されています。力強くお話しくださる徳満さん、新しい本殿をみられるのも近い未来かもしれません。



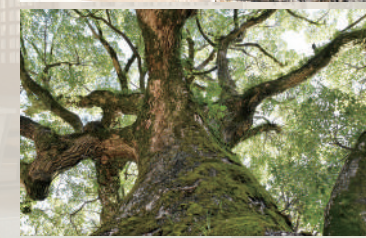
宮司
坂上 和泉さん



宮司
山下 剛さん



代表総代
徳満 文夫さん



取材させていただいた皆さん、鹿児島の平和と発展を願うお言葉がありました。島津家ゆかりの三社詣で、新しい年を迎えてみませんか？

イベント予告 令和5年度 「歴史シンポジウム」開催！



毎年、好評の歴史シンポジウムを今年も開催いたします。

令和5年（2023）は薩英戦争160年、令和6年（2024）は開成所設立の160年の年に当たります。薩英戦争後、西欧の科学技術・諸制度を導入する必要性を改めて痛感した薩摩は、どのようなビジョンをもち、西欧の科学技術・制度の導入を図ろうとしたのかを明らかにしていきます。皆様のご応募お待ちしております。



▲昨年度の様子

イベント詳細

テーマ「薩摩よ、イギリスに学べ
～薩英戦争、開成所設立、薩英交流への道～」

日程2024年1月28日（日）13:30～16:30

会場サンエールかごしま（入場無料）

定員300名（事前申込み）※応募多数の場合は抽選

シンポジスト講演／松尾 千歳氏（尚古集成館館長）
山崎 美智子氏（アイエス通訳システムズ代表取締役）
肥後 秀昭氏（鹿児島市維新ふるさと館特別顧問）

進行佐々木 幸男（維新ふるさと館副館長兼歴史解説員）

維新ふるさと館ホームページの応募フォームからも申込可能です。詳しくは当館ホームページの新着情報をご確認ください。

